

2015年(平成27年)度 第6回理事会議事録

日時：2015年(平成27年)12月5日(土) 14:00～17:20

場所：八重洲ダイビル 第1会議室

出席者：藤本豊士(理事長)、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦(以上常務理事)、青山裕彦、木山博資、佐藤 真、篠田 晃、柴田俊一、島田昌一、千田隆夫、松村譲児、中村桂一郎、西 真弓、野田泰子、藤倉義久、八木沼洋行(以上理事)、寺島俊雄、牛木辰男(監事)、阪上洋行、松崎利行(以上常任幹事)、片桐 淳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 議事録署名人の選任：定款第39条の規定により、牛木・寺島両監事を選出する。

II. 会議記録の確認

以下の議事録が確認され承認された。

- (1) 2015年(平成27年)度第3回理事会(平成27年3月21日開催)議事録
- (2) 2015年(平成27年)度定時社員総会(平成27年3月22日開催)議事録
- (3) 2015年(平成27年)度第4回理事会(平成27年3月23日開催)議事録
- (4) 2015年(平成27年)度第5回理事会(平成27年6月1日-5日開催)議事録

III. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 教授就任による代議員の承認について

資料に基づき、常務理事会において、教授就任に伴い9名の代議員が承認されたことが報告された。

(2) 持ち回り理事会結果について

資料に基づき、解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドラインに関する第5回理事会メール審議の結果、賛成18、反対0で承認されたことが報告された。

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、4月以降の男女共同参画推進委員会の活動が報告された。

(4) 日本外科学会CSTガイドライン委員会報告

資料に基づき、平成27年度第1回(平成27年7月13日開催)、第2回(平成27年7月13日開催)CSTガイドライン委員会の主な議事内容として、①各大学からのCST実施報告書の審査内容、②日本耳科学会の遺体を用いた側頭骨解剖実習の基準(案)に対してCSTガイドライン委員会から回答されたことが報告された。

(5) 学術大会におけるCOI申告方法について

資料に基づき、平成28年度第122回解剖学会全国学術集会から施行する発表演題に対する利益相反状態に関する申告書の作成が報告された。

(6) 会員名簿作成について

資料に基づき、会員名簿作成状況が説明され、12月15日に納本予定であること、印刷予定部数750冊であること、解剖学雑誌91巻1・2月合併号において購入案内を行う予定であることが報告された。

(7) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) 大矢商会廃業に伴う配当額確定について

資料に基づき、大矢紹介の破産に伴う配当額確定に関する破産管財人からの通知内容が説明され、配当金(31,560円)が平成27年3月31日に振込まれたことが報告された。

(2) 解剖学雑誌掲載稿における著作権について

資料に基づき、これまで解剖学雑誌に掲載された巻頭言、寄稿、追悼文・広告の著作権の学会への委譲に関するお願いの会告(解剖学雑誌90巻4号掲載)に対して、平成27年11月30日の締め切りまでに異議申し立てがなかったことより、解剖学雑誌に掲載されたすべての著作物の学会への委譲が完了したことが報告された。また、今後、

学術著作権協会と著作物複写利用に関わる権利委託に関する交渉を行う予定であることが報告された。

- (3) その他
特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 2015(平成27)年度奨励賞について

資料に基づき、2015(平成27)年度奨励賞に6名の申請者があり、賞・研究費候補者選考委員会(12月19日開催予定)において審議予定であることが報告された。

- (2) 一級ならびに二級技能士審査結果について

資料に基づき、一級および二級技能士資格試験受験者各2名を合格と判定する解剖組織技能士資格審査委員の審査結果が報告された。また、来年度以降の一級技能士試験実施体制について、①試験を東京都内で一括開催すること、②ビデオによる事前審査を導入すること、③審査シートの導入により口頭試問での審査内容を標準化する予定であることが報告された。

- (3) 2016(平成28)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、12月1日現在の準備状況として、①演題数、②日程概要、③予算について報告された。

- (4) 2017(平成29)年度総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、準備状況として、①開催期日場所(2017年3月28日～30日、長崎大学坂本キャンパス)、②運営組織、③大会方針とテーマ(案)について報告された。

- (5) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、平成27年6月24日に開催された第2回理事会、定時総会、第3回理事会の議事内容が説明され、新役員の選任経過と結果が報告された。

- (6) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第11回及び第12回定例会議(平成27年3月7日及び10月3日開催)の議事内容が報告された。主な議事内容として、第11回定例会議での運営委員の選出に関する運営規定の改定、第12回定例会議での①ポストク問題検討委員会によるポストクの雇用促進と研究者育成に関する「生科連からの〈重要なお願い〉」の冊子の第2版が4月に出版されたこと、②文部科学省が導入を検討している「卓越研究員制度」に関して、生科連として新たな予算措置に対しては歓迎するが、ポストク問題の根本的な解決策となりうるのかなどの問題点もあり、今後の推移を注視するとともに生科連として文科省に意見を伝える予定であること、③「国立自然史博物館」の設立に向けて、生科連として支援することなどが報告された。

- (7) 脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、第4回評議員会(平成27年5月9日開催)での議事内容が報告された。

- (8) 7th APICAについて

シンガポールで開催される7th APICAにおいて、藤本理事長と岡部理事が日本解剖学会の推薦講演者として、仲嶋理事と寺田理事がシンポジウムのオーガナイザー兼講演者として参加する予定であることが報告された。

- (9) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 支部学術集会決算について

資料に基づき、第25回日本解剖学会関東支部懇話会の収支報告書の内容が報告された。

- (2) 2015(平成27)年度総会・全国学術集会収支決算について

資料に基づき、第120回日本解剖学会総会・全国学術集会の収支決算と参加者アンケート集計結果が報告された。

- (3) 2015(平成27)年度中間決算書について

資料に基づき、平成27年度10月次中間決算書(平成27年1月1日～10月30日)の内容が説明され、項目間の多少の執行率の差異はあるが、ほぼ例年通りの収支内容であることが報告された。

(4) ホームページバナー広告募集について

資料に基づき、賛助会員と第120回全国学術集会広告賛助企業に対して、日本解剖学会ホームページバナー広告の募集案内を行った結果、日立ハイテクノロジーズと南江堂の2社から掲載希望の回答があり、広告の掲載を開始したことが報告された。更なる広告募集につき協力の要請があった。

(5) その他

特になし。

IV. 審議事項

1. 名誉会員・永年会員の推薦について

資料に基づき、永年会員の推薦対象者16名について審議され、承認された。今後、本人の意志確認の上、来年度定時社員総会において審議することとした。

2. 全国学術集会におけるワークショップ、シンポジウムへの開催補助について、ならびに申し合わせの一部改正について

資料に基づき、委員会主催のワークショップ、シンポジウムへの開催助成に関して、一部内容の再検討を求めた上で3件を助成することを決定した。また、今後の全国学術集会における委員会主催のワークショップ、シンポジウムへの開催助成に関して、常務理事会が助成の可否について協議し、その結果を当該学術集会の大会長とプログラム委員会に通知することとした申し合わせの改正案の内容が説明され、了承された。

3. 申請による代議員について

申請による代議員に応募のあった3名について審議し、1名が承認された。他の1名については、追加資料を求めた上で改めて理事会メール審議を行うこととした。

4. 2015(平成27)年度解剖組織技能士功労賞について

資料に基づき、2015(平成27)年度解剖組織技能士功労賞申請者3名について審議され、投票の結果、承認された。

5. 2019(平成31)年度総会・全国学術集会開催校について

資料に基づき、2019(平成31)年度総会・全国学術集会開催校の開催希望の届出があった日本歯科大学(会頭予定者:影山幾男先生)が、審議の結果、承認された。

6. 技能士の名称抵触問題について

資料に基づき、解剖組織技能士制度の名称に関するこれまでの経緯について説明され、法律による名称の独占の有無を明確にすることは、名称を一括して管理する団体がいないため非常に困難であるとの顧問司法書士の意見を鑑み、常務理事会及び解剖組織技能士資格審査委員会です承された「マイスター」への変更が提案された。理事から外来語に対する違和感などの否定的な意見が出たため、本案を一旦保留とし、再検討することとした。

7. 2016(平成28)年度以降の技能士試験実施方法について

資料に基づき、平成28年度以降の一級技能士試験実施体制について、①試験を東京都内で一括開催すること、②ビデオによる事前審査を導入すること、③審査シートの導入により口頭試問での審査内容を標準化すること、④現在、衛生検査技師もしくは臨床検査技師の資格を有する者に認めている一級技能士「飛び級」受験制度に関して、解剖学の研究・教育に用いられている組織標本の作成業務に3年以上従事している経験を条件として付加することが説明され、審議の結果、了承された。

8. 学会費自動引き落とし制度導入について

資料に基づき、学会費自動引き落とし制度導入により、郵便振替による学会費納入の場合に必要な学会費請求関係諸経費の削減や、学会費納付率の向上が見込めることが説明された。審議の結果、来年度から学会費の自動引き落とし制度を導入し、引き落とし時期は毎年一回、10月27日に、手数料は学会負担(150円/人)とすることが審議の結果、承認された。

9. 2016(平成28)年度事業計画案について

資料に基づき、2016(平成28)年度事業計画案が説明され、了承された。

10. 事務委託契約について

資料に基づき、一般財団法人口腔保健協会への事務委託に関する平成28年度再契約の内容が説明された。審議の結果、今回の事務委託費の引き上げに関して、将来的に本学会の財政状況が悪化した際には値下げを含めて柔軟に対応してもらうこと、当分は本契約内容を維持してもらうことを条件として、承認された。

11. 2016(平成28)年度仮予算書案について
資料に基づき、2016(平成28)年度仮予算書案について説明され、審議の結果、承認された。
12. 今後の海外交流について
資料に基づき、2015年9月15日付で理事長及び事務局に送付された国際解剖学連合(IFAA)のB. Kramer理事長からの正規会員への復帰の依頼文とこれまでの経緯が説明され、常務理事会としては現時点でIFAAに復帰しないとの結論に至ったことが報告された。審議の結果、了承された。
13. コメディカル教育における解剖実習について
昨年12月に死体解剖資格審査分科会から公表された「死体解剖資格審査の留意事項」が説明された。また、医学部・歯学部以外の学部での解剖学教育のあり方等について意見を交換した。
14. 今後の学会運営方針について
資料に基づき、解剖学講座枠の減少に伴う一般会員数と代議員数の漸減を示す本学会の会員種別の年次推移データが示され、今後の本学会の運営方針について意見が交わされた。学会として解剖学の新たな社会的ニーズを掘り起こしていく必要があるなどの意見が理事から出された。
15. その他
特になし。
16. 次回(2016(平成28)年度第1回)の日程の確認
日時 2016(平成28)年3月27日(日) 14:30~15:00(支部長会)、15:00~16:50(理事会)
会場 ビックパレットふくしま・小会議室1

上記の2015年(平成27年)度 第6回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人(監事)はここに記名押印する。

年(平成 年)月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人